



古高だより

自主自立 敬愛和協 明朗端正 勤勉誠実

鹿児島県立古仁屋高等学校

〒894-1508

鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋399番地1

[TEL]0997-72-0034

[FAX]0997-72-0057

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/koniya/

<第71回 卒業式>



教育委員会賞

岩崎賞

高文連芸術文化賞 古高会賞



静岡いずみさん



十倉弘丞さん



喜村怜さん



喜屋武豊之さん

県コミュニティづくり 学校部門 優秀賞



静岡いずみさん

十倉弘丞さん

安江海都さん

1か年皆勤



春琴葉さん, 中村ひなたさん, 静岡いずみさん

喜屋武豊之さん, 尾崎隼作さん

3か年皆勤



喜村怜さん, 諫山あずささん, 村田海音さん, 伊村瞭さん



令和3年3月1日, 本校体育館にて第71回卒業式が挙行されました。本年度の卒業生は25名でした。

校長は式辞で「夢を実現できる人は, 自分の中の不安を克服し, 粘り強く挑戦し続ける人であることを心に刻んで, 夢に向かって一歩, 一歩しっかりと歩いて行ってください。」とエールを送りました。改めて, 御卒業を祝すとともに, 卒業生の皆さんが輝ける未来に向かって大きく羽ばたいていけることをお祈り申し上げます。



卒業生の胸にコサージュとともに飾られた丸いバッジ。家庭クラブ委員が私たちと共に過ごした古高での日々を忘れないでという思いを込めて, 大島紬を使ってに作製しました!

創立90周年記念 第10号(最終回)

「郷土の高校! 古仁屋高校のあゆみ」

これからの歩み 「地域みらい留学」

このコーナーでは, 古仁屋高校の創立から今日までの歩みを振り返ってきました。なかでも, 本校は昭和5(1930)年に大島郡東方村立古仁屋家政学校として誕生し, 古仁屋小学校の校庭西側に所在していたこと。昭和19(1944)年3月, 鹿児島県古仁屋高等女学校(校名変更あり)第1回卒業生は卒業後すぐに北九州の軍需工場へ挺身隊員として動員され, そこで亡くなった方が多く, 在校生も塹壕掘り(須手), 芋植え(瀬久井), 奄美大島陸軍病院(現:古仁屋中学校)の手伝いなどに従事していたこと。昭和25(1950)年, 戦後復興最優先の時期に「新制高等学校設立など時期尚早だ!」, 「名瀬の高校への進学は負担が大きすぎる。ぜひ地元の新制高等学校設立を!」と激論の末, 「新制古仁屋高等学校」設立で決着した。これらは風化させてはならない郷土の記憶です。瀬戸内学校組合から鹿児島県へ設置者は変わりましたが, 瀬戸内の人々が設置し, 育ててきた本校に対する思いは現在も受け継がれています。

現在, 本校は瀬戸内町と連携し, 一般財団法人「地域魅力化プラットフォーム」の行う「地域みらい留学」(日本各地域にある魅力的な学校に入学し, 充実した高校生活をおくること。豊かな自然, ココでしかできない体験, 少人数教育など都道府県の枠を超えて挑戦できる取組)に参加しており, 全国に向けて本格的に入学の門を開いている県立高校3校の中の1校です。参加3年目の今年, 留学生と地域との交流もさらに深まり, 寮が所在する清水地区以外でも瀬戸内町出身の生徒とともに地域行事の維持及び活性化に貢献しています。このように, 古仁屋高校の「これからの歩み」は地域の皆様と手を取り合いながら一歩ずつ前へ進んでいます。(教頭 吉井秀一郎)

<参考・引用文献> 創立50周年記念誌(1981年 鹿児島県立古仁屋高等学校創立五十周年記念事業実行委員会) 瀬戸内町誌 歴史編(2007年 瀬戸内町誌歴史編編集委員会)

<令和2年度 進路体験発表>

2月17日, 体育館で3年生が進路に関する体験談を発表し, 1, 2年生にアドバイスをしました。

今年度は, コロナウイルス感染症の影響で試験内容の急な変更などがあり大変だったこと, 何事も早めに取り組むことの大切さなど後輩に伝えました。



<大会報告>

第42回県高等学校新人サッカー競技大会
1回戦 古仁屋 0-4 尚志館

第51回県高校新人バスケットボール大会
男子 1回戦 古仁屋 - 鹿児島第一(不戦勝)
2回戦 57-40 鶴翔
3回戦 66-87 大島
女子 (古仁屋・奄美・喜界・沖永良部合同チーム)
1回戦 古仁屋 45-89 鹿屋農業

令和2年度県高校春季ソフトテニス選手権大会
男子団体(古仁屋・奄美・神村合同チーム)
1回戦 古仁屋 2-1 指宿商業
2回戦 0-3 鹿児島商業
女子団体 1回戦 古仁屋 0-3 鹿児島実業

戸籍の窓

戸籍の窓は、2月に届けられた分のうち、希望者のみを掲載しています。(敬称略)

😊 お誕生おめでとう

おくやみ申し上げます

【名前】	【保護者】	【住所】
小池 奏樂 <small>かなた</small>	仲弥	古仁屋
朴澤 沙也佳 <small>さやか</small>	憲和	古仁屋
小熊 はなび	慶之	古仁屋
岩本 結翔 <small>ゆいと</small>	薪吾	阿木名
早川 千瀬 <small>ちせ</small>	成弥	古仁屋
岩切 雄光 <small>ゆうこう</small>	雄真	古仁屋
小林 あられ	良輔	蘇刈
新山 桜雅 <small>おうが</small>	翔平	西阿室
山元 達稀 <small>たつき</small>	司	諸鈍
嘉野 璃紗 <small>りつ</small>	剣太郎	阿木名

♡ ご結婚おめでとう

【名前】	【本籍】
龍山 俊彦	篠川
福原 凪彩	網野子

Wishing you a happy life together ♪

広報紙郵送料寄付

【名前】	【住所】
武田 勝次	大阪府
山元 弘次	兵庫県
勝 康博	神奈川県

総合計金30,000円

【名前】	【年齢】	【本籍】
譽田 節子	94	古仁屋
清水 悦子	68	古仁屋
益 ミエ子	87	勝浦
福島 一真	94	手安
沖島 良仁	64	嘉鉄
森 信男	96	武名
清原 哲也	97	押角
武田 尚	87	武名
友 雄治	66	愛知県
松下 スエ子	81	古仁屋
嘉納 ヨシ子	86	嘉入

香典返しとして社協へ

【遺族】	【故人】	【住所】
喜島 順子	和子	瀬久井東
益田 健一	益 ミエ子	東京都
譽田 原吉	譽田 節子	船津
武田 若江	尚	瀬久井西
沖島 すが乃	良仁	嘉鉄

総合計金95,000円也

令和3年4月 休日当番医のお知らせ

休日・祝日の診療は、町内の医療機関が当番制で行っています

■休日当番医予定表

日付	当番医	薬局	診療時間	
4月3日(土)	瀬戸内徳洲会病院		通常	午後
4月4日(日)	瀬戸内徳洲会病院		午前	午後
4月10日(土)	瀬戸内へき地診療所	マリン薬局	午前	午後
4月11日(日)	瀬戸内へき地診療所	マリン薬局	午前	午後
4月17日(土)	瀬戸内徳洲会病院		通常	午後
4月18日(日)	瀬戸内徳洲会病院		午前	午後
4月24日(土)	南大島診療所	南部調剤薬局	—	午後
4月25日(日)	南大島診療所	南部調剤薬局	午前	午後
4月29日(木)	瀬戸内徳洲会病院		午前	午後

■診察時間

午前：午前9時から正午まで
午後：午後2時から午後5時まで

※「通常診療」の時間は、各医療機関で異なりますので、お問合わせください。

※休日当番医は、**変更になる場合**がありますので、事前に各医療機関にお問合わせください。

※新型コロナウイルス感染症関連で休日当番医の変更等がある場合があります。

※南大島診療所は、阿木名の「老健せとうち」に併設となっております。

■町内医療機関の電話番号

いづはら医院 ☎ 0997 - 72 - 3307

へき地診療所 ☎ 0997 - 72 - 3211

瀬戸内徳洲会病院 ☎ 0997 - 73 - 1111

南大島診療所 ☎ 0997 - 72 - 0107

せと家のアイドル

「せと家のアイドル」大募集

ご家庭の笑顔を皆さんに届けてみませんか？
 小学校入学前のお子さんを募集します。(町内在住者に限ります)
 住所、氏名、連絡先、お子さんの名前(ふりがな)・生年月日、36文字以内のメッセージを記入し、写真を郵送またはメール(2MB以内)で送付ください。
 窓口でも受け付けます。※過去に掲載したお子さんも、掲載後1年経過していれば掲載できます。(写真返却不可)

企画課 情報政策係 ☎ 0997 - 72 - 1112
 <郵送での申込み> 〒894-1592 企画課広報「せと家のアイドル」係
 <メールでの申込み> johou@town.setouchi.lg.jp まで
 ※上記以外での申込は受け付けておりませんので、予めご了承ください。

みなと ゆうま
 凌 雄真くん



♡ Q 2021.1.6 生
 産まれてきてくれてありがとう
 ゆうま、笑顔いっぱいの人生を歩もうね！

瀬戸内町を応援しませんか。

ふるさと納税制度は「好きなまちを応援したい」「ふるさとを大切にしたい」など、応援したいまちへの寄付金です。
 瀬戸内町へのふるさと納税は下記、QRコードから！



瀬戸内町の個性豊かな返礼品のご紹介



クロマグロ



マンゴー



パッションフルーツ



旬の島野菜

うがみんしよーらん！
 はげ〜。時が経つことの早いこと早いこと…。あつという間に4月がやってきました。皆さんどうお過ごしですか。
 さて、先日ぶらり書店に立ち寄りまして「20代を無難に生きるな」という無難に生きてきた私には持ってこいの本を見つけ、ページをめくっていると、気になる一文を見つけました。
 「20代のうちに一度知覧に行きなさい」？？？知覧に何があるのだろうか。そんな思いが頭から離れないまま数日が経ち、先日鹿児島島へ行く機会がありましたので、物は試しと思い、計画も立てずに知覧へ向けてレンタカーを走らせました。
 知覧に到着し、まず向かったのが「知覧特攻平和会館」。そこには、75年前に行われた特攻という人類史上類のない作戦で、爆弾を装備した飛行機もろとも敵艦に体当た

り攻撃をした陸軍特攻隊員たちの遺品や関係資料が展示されていました。入館して間もなく目に飛び込んできたのが、実際に出撃し機体が真っ二つに折れたまま海に沈んでいた零戦。命を賭して戦ったリアルが伝わってきました。その後も、特攻隊員の出撃前夜に記された遺書や、敵艦に突撃した実際の映像など悲劇の惨状を目の当たりにし、当たり前のように明日が訪れる日常の尊さに「生きていくだけで本当ありがたいことなんだ」と心から感謝している自分がいました。皆さんも機会があれば一度知覧へ行かれてみてください。
 時が経つのは早いもので気付けば、毎月長々とお邪魔してきた「今月の独り言」も今月号で2周年を迎えます。毎度、当たり障りのない無難な文章(先月はイカで大スベリ)で読者の皆さんには大変なご迷惑をおかけしてい

編集後記
 『今月の独り言』

『本当にありがとうございました。』

ますが、今一度この節目に感謝を伝えておきたい。2年間、ご愛読くださいまして本当に有り難うございました。そして、2021年度も『広報せとouchi』をどうかどうか、よろしくお願いいたします！
 それでは、4月も皆さんにとって希望に満ちた幸せな日々でありますように。



約75年前に実際に使用され海に沈んでいたゼロ戦(零式艦上戦闘機)



企画課
 竹山 雅道

